

目の健康を題材とした健康教育の介入研究

—目の健康を守るために大切な姿勢や環境を理解することができる—

教育実践高度化専攻 児童生徒発達支援コース 養護教育実践系

中澤 あゆみ

近年、GIGA スクール構想によって1人1台タブレット端末を使用するようになっていたり、日常生活の中でスマートフォンや携帯ゲーム機を使用したりするなど目を酷使する状況にある。子どもの近視は社会的にも大きな問題として取り上げられている。そこで本研究では、低学年のうちから目の健康についての指導を行う事で目の健康について意識を持たせることを目的として2年生を対象に目の健康を守るための授業等の介入を行った。また子どもの意識や行動変容を目の健康についてのアンケート調査で比較した。その結果、授業実践や掲示物・目の体操などの介入をした後には目の健康を守ろうとする意識づけができたと考える。しかし、介入をしてから時間が経つと目の健康に対する意識も薄れていってしまうため、養護教諭が授業や掲示物を作成するだけでなく担任や家庭とも連携して子どもが自身の目の健康を守るができるようにサポートしていくことができるようにしていくことができると良いと考えられる。